

H28年度 第1回物部川地域アクションプランフォローアップ会議の概要

日時：9月2日（金）14:00～16:30

場所：香美農林合同庁舎 1階大会議室

1 議事等

(1) 産業振興計画関連 年間スケジュールについて
・ H28年度のスケジュールを説明

(2) 地域アクションプランについて

1) 第2期物部川地域アクションプランの取り組みの総括について

・ 第2期の取り組みの成果等について説明

2) 第3期物部川地域アクションプランの進捗状況等について

・ 上半期の進捗状況等について説明

(3) 産業成長戦略について

1) 志国高知 幕末維新博について

・ 実施計画について説明

2) 移住促進の取り組みについて

・ 移住促進策の進捗状況等について説明

2 意見交換

<産業振興計画関連 年間スケジュールについて>

・ 特になし

<地域アクションプランについて>

・ (No.1 ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」)平成27年度目標(ニラ販売額:29億7千万円)に対して、実績が27億8千万円であり、2億円程度ショートしているが、具体的な原因は何か。

また、この指標はJAを通した系統出荷のみの販売額であり、系統外出荷の数字には触れていない。これでは大局を見失うのではないか。

→ これまでの取り組みにより、栽培面積は若干増加しているが、面積の拡大が増収に繋がっていない。現在、面積の増加が増収に繋がるような取り組みを補助事業も活用しながら進めている。

また、こうした取り組みの評価にあたって定量的な評価をする際には、系統外は客観的なデータを把握しづらいということがあり、どうしても系統の数字で説明せざるを得ないという状況もご理解いただきたい。ただ、ニラに限らず農産物の生産振興について、そこに系統、系統外で対応を変えるようなことはせず、同等に対応していきたいと考えている。

・ 観光の入込客数について、それぞれ色々な項目で数字が挙げられているが、宿泊に関するデータはあるのか。宿泊していただくことにより、地域に落とさせていただくお金が多くなる。目玉の商品としていろいろなイベント開催なども大事だが、やはり宿泊していただくような計画にしないと伸びが少なくなる。また、泊まった際に飲みに行ってもらえれば、この地域へ落ちるお金も多くなると思う。次の課題になると思うが、考えがあれば聞かせていただきたい。

→ 現在は入込客数で押さえている。県内の観光施設などの利用者数については、各施設から県に報告をいただいております。信頼がおけるデータであることから指標として設定している。しかし、宿泊者数に関しては、現状、それぞれの施設から報告いただく仕組みになっていない。委員がおっしゃるように、お金が本当に落ちるのは宿泊だろうというのは、まさにそのとおりだと思う。他の地域の状況も確認したうえで、何ができるのか考えていけたらと思う。

<産業成長戦略について>

- ・ 移住実績について、昨年の県全体の実績276組のうち、物部川流域は9組となっているが、どういう理由でこれほど他の地域との格差ができるのか。
- 取り組みが特に進んでいる市町村は、以前から継続的に取り組んでいる。継続することで、受け入れの態勢も徐々に整い、マッチングが進んでいることと考えられる。また、移住相談員や専門スタッフの配置によっても、移住実績に差がついている状況である。

- ・ 移住実績の内訳について、Uターン、Iターンの状況を教えていただきたい。
- 昨年度の実績で言えば、相談者本人の出身地としては、Uターンの方は3割ほどで、約7割の方は本県出身以外の方となっている。もともと両親が高知県に住んでいたものなど、なにかしら高知に縁を持たれている方を含めると、3割をさらに超えると認識している。

■お問い合わせ先

高知県産業振興推進部計画推進課（地域産業担当）

電話 088-823-9334

FAX 088-823-9255

メール 120801@ken.pref.kochi.lg.jp